

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

職人と商人の両方が必要 高田 明 (ジャパネットたかた社長)

1. 東京に本社を移そうと思ったことはなかったか、とよく聞かれますが、長崎県佐世保市が本社でデメリットを感じたことはあまりないです。佐世保は都会に比べれば物価が安く、食べ物もおいしい。通勤時間は短く、住むうえでは環境に恵まれている。それに、普通は東京からローカルを攻める企業が多いと思いますが、私たちはローカルを固めて最後に東京に入りました。
2. 人材獲得という面ではローカルのハンディはあるかもしれませんが、ただ、それもジャパネットたかたのブランド価値を上げれば解決できる話です。ビジネスに不自由を感じないのなら、故郷で起業するに越したことはありません。近頃は地域格差がしきりに叫ばれていますが、地域格差は全くないと思っています。
3. 私は自分自身を、眠っている商品の価値を消費者に伝える表現者だと考えています。たとえ職人が優れた工芸品を作っても、それを売る人がいなければ消費者の手に届きません。世の中には職人と商人の両方が必要なのです。

(参考:「日経ビジネス」2011年5月23日号)

経営者のための理念・哲学

信を得ることは難しい

渡邊五郎三郎 (福島新樹会代表幹事)

1. 「西郷南洲手抄言志録」で選ばれている言葉から、人間の器量を養う上で糧となるものを紹介しましょう。「凡そ事を作すには、須らく天に事うるの心有るを要すべし。人に示すの念有るを要せず」。(すべて事業を行うには、必ず天の意志に従う心を持つべきである。他人に誇示する気持ちがあってはいけない)
2. 「信を人に取り難し。人は口を信ぜずして躬を信じ、躬を信ぜずして心を信ず。是を以て難し」。(人から信用を得ることは難しい。いくら口先でうまいことを言っても人は言葉を信じないでその人の行いを信じる。いや、本当は行いを信じずに、心を信じるものだ。心を人に示すことは難しいから、信を人に得ることも難しい)

(参考:「致知」:2011年8月号)

人事・労務について

海外勤務に応じる (54.3%)

1. 内向きといわれる若者に変化が出てきたのか。日本生産性本部が行った 2011 年度新入社員の意識調査によると、海外勤務に応じたいと回答した人の割合が 5 割を超えたことがわかった。
2. 「海外勤務のチャンスがあれば、応じたい」との項目について、「そう思う」は 54.3%で、「そう思わない」の 45.7%を上回った。「そう思う」は、男女別では女子の 57.9%に対して男子 52.8%。従業員別では 299 人以下の企業が 60.3%と、300 人以上の企業 53.3%を上回った。

(参考:「週刊東洋経済」2011年5月21日号)

古典に学ぶ

毎日、新しいものを探そう

「日々新にしてまた日に新なりは面白い、すべて形式に流れると精神が乏しくなる、なんでも日に新の心掛けが肝要である」

(参考: 渋澤健「渋澤栄一 100 の訓話」: 日経ビジネス人文庫)